

JS だより

連載 214

## JS 近畿総合事務所の事業紹介

近畿総合事務所長  
中筋 康之

## 1 はじめに

日本下水道事業団（以下、「JS」）近畿総合事務所（所在地：大阪市中央区）は、福井県と近畿2府4県（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）の計2府5県の下水道事業を支援しています。当事務所は、2004年4月、上記府県に加え中国地方も所管する近畿・中国総合事務所としてスタートし、2019年4月の組織再編に伴い現在の近畿総合事務所として、約70名のスタッフで業務を行っています。

## 2 所管の状況

当事務所は、大阪市にある総合事務所のほか、福井市、大津市、神戸市、堺市にそれぞれ県事務所と、京都府長岡京市に京都分室を設置して、広範にわたる管内の業務、および地方自治体のサポートを機動的に行っています。また、現在は、2025年大阪・関西万博関連受託事業の実施体制を強化することを目的として、総合事務所内に夢洲プロジェクト推進室を設置しています。

管内事業の特徴としては、比較的大規模かつ長期にわたる事業が多く、総額100億円を超えるプロジェクトも複数箇所で行っているところです。

## 3 2023年度の事業概要

今年度の事業規模は例年より多く約500億円で、

これは大規模な浸水対策、汚泥有効利用事業、既存施設のリニューアル、大阪・万博関連事業等の工事が本格化していることが大きな要因となり、次年度以降は、今年度を更に上回る見込みです。

今年度の建設工事の府県別受託箇所数および受託概算事業費の見込みを、表1に示します。

表1 2023年度の建設工事府県別受託状況

| 府県名  | 受託箇所数 | 受託概算事業費（億円） |
|------|-------|-------------|
| 福井県  | 6     | 21          |
| 滋賀県  | 5     | 71          |
| 京都府  | 9     | 45          |
| 大阪府  | 18    | 151         |
| 兵庫県  | 24    | 194         |
| 奈良県  | 2     | 4           |
| 和歌山県 | 4     | 18          |

## 4 主な受託事業

今年度進行中の主な事業について、以下に紹介します。

## (1) 2025年大阪・関西万博関連事業

大阪市から、2025年大阪・関西万博会場となる夢洲内の雨水管渠、污水管渠および抽水所、夢洲から舞洲に汚水を送る管渠（両島間に既に築造されている共同溝内に設置）、および既設の舞洲抽水所を増設する工事を受託しています。現時点では大きな遅れはなく、設備工事も含めて2024年内で

の完成・稼働を目指して工事は進んでいますが、今後各国のパビリオンの建築工事が本格化することから、引き続き他事業者とも調整しながら、より早期の完成を目標としています（図1）。



図1 2025年大阪・万博関連事業全景

## （2）汚泥燃料化事業

滋賀県、福知山市、兵庫県から受託し、それぞれ琵琶湖湖南中部浄化センター、福知山市福知山終末処理場、兵庫東流域下水汚泥広域処理場（写真1）の3カ所で事業を進めていますが、いずれも大規模な工事であり、同時期にDB（デザインビルド）方式（一部はオペレーションを含む）により発注・契約手続きを行い実施しています。まだ、本格的な工事はこれからですが、JSでは先駆的な事業のため、試行錯誤しつつ、今後のために本事業で得られる知見はしっかりと蓄積していきたいと考えているところです。



写真1 兵庫東流域下水汚泥広域処理場工事状況

## （3）姫路市浸水対策事業

大規模な浸水対策事業の一環として、長期間にわたり受託している兵庫県姫路市では、今年度は、まもなく完成予定の汐入川才西川放水路幹線、広畑本町貯留管（写真2）、大塩ポンプ場（図2）、および八家川第五ポンプ場の4カ所の施設を実施しています。

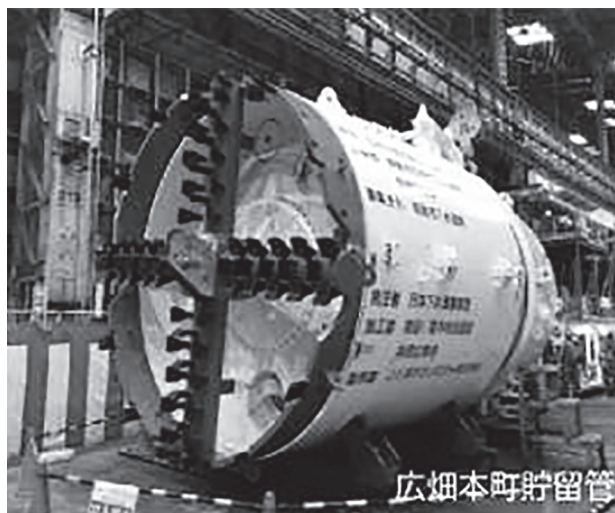


写真2 広畑本町貯留管のシールドマシン



図2 大塩ポンプ場の完成イメージ図

なかすじ・やすゆき 平成5年4月日本下水道事業団採用。同14年4月国土交通省国土技術政策総合研究所（出向）、同26年4月堺市上下水道局（出向）、同28年4月事業統括部事業課長、同31年4月西日本設計センター次長、令和3年4月事業統括部次長、同5年4月より現職。